

環境大気モニタリング分科会 第56回研究会
『窒素循環における一酸化二窒素 (N₂O) の大気排出、観測およびその対策』
(対面+Web ハイブリッド開催)

謹啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

大気環境学会の環境大気モニタリング分科会では、大気環境のモニタリングに関する研究会を開催しております。今回の研究会では、「窒素循環における一酸化二窒素 (N₂O) の大気排出、観測およびその対策」をテーマとしました。

一酸化二窒素 (N₂O) は主要な温室効果ガスの一つであり、成層圏オゾン層の破壊物質でもあります。二酸化炭素やメタンなどと比べ大気中濃度は低いものの地球温暖化係数が高く、その大気濃度は増加傾向にあることから重要な大気中成分であると言えます。近年ではグローバルな窒素循環のかく乱による地球システムへの脅威に対する反応性窒素の管理についても議論されており、N₂O についても今後注目される環境問題の一つとなっています。第56回研究会ではN₂Oをテーマに廃棄窒素管理の中でのN₂O排出、大気中N₂Oの観測、主要排出源の一つである下水処理におけるN₂O排出とその対策について最新の動向を解説していただきます。

テーマ：『窒素循環における一酸化二窒素 (N₂O) の大気排出、観測およびその対策』

日時：2025年3月28日(金) 14:00~16:30 (Zoomは13:30より接続可)

会場：対面 及び Zoom でのハイブリッド開催

- ・江東区文化センター 大研修室 (東京都江東区東陽 4-11-3 [アクセス](#))
定員先着 70名 (定員を超えた場合、Web参加をお願いする場合があります。)
- ・Zoomの接続情報は、後日お送りします。

演題名・講演者 (敬称略)：

- (1) 廃棄窒素管理におけるN₂O排出の意義 (仮)
仁科 一哉 (国立環境研究所)
- (2) 大気中N₂Oの安定同位体比観測と収支解析への応用
豊田 栄 (東京科学大学)
- (3) 下水処理に伴う一酸化二窒素排出の実態把握と抑制対策について
石井 淑大 (国土技術政策総合研究所)

座長：星 純也 (東京都環境科学研究所)

費用：無料 (ただし事前申込が必要 ☞ <https://forms.gle/4qKjaN6BffNcXmXX8>)

参加資格：特に制限はありません (大気環境学会の非会員も歓迎します)

分科会HP：<https://sites.google.com/site/atmospheremonitoring>

問合せ先：分科会事務局 (賢持) s-kenmochi@toadkk.co.jp



参加申し込み

代表者：星 純也 (東京都環境科学研究所)

幹事：賢持 省吾 (東亜DKK) (事務局)

齊藤 勝美 (イサラ研究所)

戸矢崎 保雄 (紀本電子工業)

中嶋 吉弘 (東京農工大学)

平野 耕一郎 ((公社)日本環境技術協会)

水野 裕介 (掘場製作所)

米持 真一 (埼玉県環境科学国際センター)

小松 宏昭 (神奈川県県央地域県政総合センター)

齊藤 伸治 (東京都環境科学研究所)

内藤 季和 ((公社)日本環境技術協会)

長谷川 就一 (埼玉県環境科学国際センター)

福崎 有希子 (横浜市みどり環境局)

森 育子 (大阪府環境農林水産総合研究所)

渡邊 剛久 (千葉県環境研究センター)